

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
4	ま っ お 晴 代	社 民 立 憲	関 係 局 長	

発言の要旨

<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 原発について</p> <p>① 2022 年度骨太の方針中、原発について「可能な限り依存度を低減」という部分を削除した政府の姿勢への評価</p> <p>② 泊原発の運転差止めが出された札幌地裁における判決への評価</p> <p>③ 原発について市長の基本的な姿勢</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症のクラスターの認定作業を 3 か月以上休止していることについて市民の理解は得られているか、市長の認識</p> <p>(3) 待機児童対策について</p> <p>① 任期中盤での待機児童数増加についての要因分析と教訓</p> <p>② 5 月 30 日の市長定例記者会見について</p> <p>ア. 市長の直轄プロジェクトとは何か。基本的な考え方と方向性</p> <p>イ. 直轄プロジェクトであることにより発生する具体的な効果</p> <p>ウ. 今後の待機児童対策についての考え方</p> <p>(4) 児童虐待について</p> <p>① 令和 3 年度の児童虐待の相談件数及び認定件数（県、市）</p> <p>② 10 年連続で最大の件数が更新されたことへの市長の見解</p> <p>③ 児童相談所の設置についての考え方</p> <p>2 乳幼児への防災対応について</p> <p>(1) 乳幼児が対象となる備蓄品の種類とその数量及び根拠</p> <p>(2) 液体ミルクについて</p> <p>① 粉ミルクとの違いと液体ミルクのメリット</p> <p>② 本市の備蓄状況</p> <p>③ 備蓄している中核市の数</p> <p>④ 消費期限が延びたことにより、本市でも備蓄品に取り入れるべきではないか</p> <p>(3) 避難所での乳児と母親への配慮について</p> <p>① 授乳時の母親と乳児への配慮にはどのようなものがあるか</p> <p>② 授乳ケープのメリット</p> <p>③ 授乳ケープの備えを検討すべき</p> <p>3 教育の課題について</p> <p>(1) 物価高騰に係る学校給食費支援補助金について</p> <p>① 給食費を値上げした小中学校の数と給食費を据え置いた小中学校の数</p> <p>② 据え置いた学校の対応</p> <p>③ 今後の物価の変動への対応</p>
---

(2) 小中学校におけるトイレ清掃について

- ① 清掃の位置づけ
- ② 本市教育委員会からの清掃の指導内容とその根拠
- ③ 各学校では誰が、週何日、1日何分ほど、清掃しているのか
- ④ 設備（小・和式・洋式便器、床面、洗面台、ドア等）ごとの具体的な清掃方法
- ⑤ 教職員の清掃指導の1週間の実施回数
- ⑥ コロナ禍以前と以後の清掃指導の変更の有無と学校の現状
- ⑦ 学校評価での保護者からのトイレへの環境改善等の要望の有無
- ⑧ 平成31年1月に出された中央教育審議会「学校における働き方改革」の答申について
  - ア. 答申を受けて行った指導
  - イ. 回数の見直し、地域ボランティア等の参画、民間委託の検討を含めた負担軽減の取組の現状
- ⑨ トイレ清掃の民間委託の検討

(3) 夜間中学について

- ① 令和4年に全国で新しく開校した夜間中学校の数と全体の数
- ② 県の事前アンケート実施に対して県との連携状況
- ③ 県の事前アンケートの実施状況と回答状況
- ④ 6月1日付の文科省からの通知について
  - ア. 通知の内容と背景
  - イ. 全国の未就学者数、最終卒業学校が小学校の人の数（2年の国勢調査から）
- ⑤ 本市の未就学者数と最終卒業学校が小学校の人の数及びその特徴（2年の国勢調査から）
- ⑥ 夜間中学の必要性についての認識
- ⑦ 設置に向けての市長の見解と今後の考え方

4 新型コロナワクチン接種証明書等のイベントでの提出について

(1) 新型コロナワクチンについて

- ① 接種後の有効期限（5か月後の効果）
- ② 接種後5か月以内に次のワクチンを接種した場合の身体への影響

(2) ワクチン接種証明書について

- ① 発行の目的
- ② ワクチン接種を進めるための発行か
- ③ ワクチン未接種者に対する差別ではないか

(3) 本市で開催されるイベントでのワクチン接種証明書等の提示について

- ① イベント参加者への証明書等の提示についての基本的な考え方
- ② サマーナイト大花火大会での観覧者への証明書等の提示の有無
- ③ ランニング桜島大会と鹿児島マラソンの参加者にどのような感染対策を求めるのか

5 武中学校通学路ののり面工事について

- (1) これまでの経緯と現在の状況
- (2) 地域住民への説明
- (3) 工事の進捗状況
- (4) のり面が崩落した場合の影響
- (5) 住民への説明も含めた今後のスケジュール